

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第60回

森の彫刻家 上床利秋

絶対女王の梅山豚

(メイシャントン)

2ℓペットボトルサイズの豚をブロンズ像に制作する依頼が舞い込んだ。

茨城県にある塚原牧場では現在、日本に100頭しかいないメイシャントン(梅山豚)を育てている。この豚は中国の梅山の麓に生息していた野生の猪がルーツの豚を塚原氏が個人で日本に輸入して、血統を維持しながら飼育しているものだといふ。ところが輸入した翌年、中国政府がこの豚を輸出禁止品目に指定した。有名三ツ星レストランシェフもその味を絶賛する「梅山豚」が幻の最高級豚肉と呼ばれている所以である。霜降りの度合いが黒豚よりも高く、肉質比較においても柔らかいのが特徴らしい。実際に塚原さんのお店から送られてきたお肉をしゃぶしゃぶにして食してみると、おいしい豚特有の風味、旨味がかねて以上に口いっぱい広がった。なるほど、

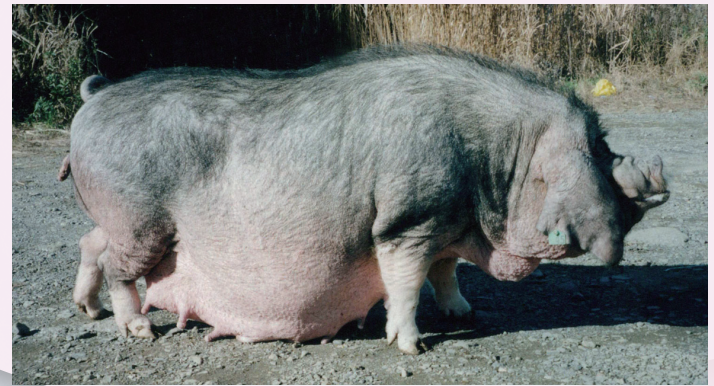
これは豚党にはたまらない美味である。

それにもまして私が驚いていたのはその風貌である。こんな凄い豚は今まで見たことがない。よく大物政治家を「カワイイ」とたたまうギャルがいるが、まさしく凄まじく「かわいい」豚なのだ。顔のしわが大きくなりすぎて目が見えていないのではないかとと思われる人相ならぬ豚相。そして、おっぱいが18個もついており、成長すると地面に引きずって動くのだそうだ。

これを等身大石彫作品にしたらインパクトのある作品になることは間違いない。いくら写真実作品だと説明しても、評論家はみんな強烈なデフォルメ



筆者作梅山豚ブロンズ像



撮影/塚原 昇

が効いた作品と評することだろう。

ところで制作依頼の塚原昇氏は若い雌の梅山豚を写真に撮って送ってくださいました。それを参考にしたので若く美豚な梅山ブロンズ像に仕上がった。さながらぴちぴちギャル豚といふところか。それはそれで良いのだが、真の豚の女王の姿を識ってしまった以上、彫刻家としていつか絶対女王のふてぶてしくも図々しい存在感200パーセントの梅山豚像を創作

し、展覧会で発表してみたいと思った。

コロナウイルス感染予防に等しく、豚コレラ予防にも万全の注意を施されて梅山豚は厳重に隔離されて育てられている。

日展会員 白日会会員 日本彫刻会正会員

この森のアトリエで彫刻を共に作ってみませんか

御感想をお寄せ下さい。

<https://douzou.jp/>

上床利秋

検索

バックナンバーも読むことができます。



レモン画材絵画教室 ご案内

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
②13:30～
- 月1回 第2火曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室



お申し込みは TEL 0995-45-1015
国分進行堂・レモン画材まで